

第3回亀山市総合計画審議会 委員意見等

No.	資料	ページ	意見・質問等
1	全体		4つの新しい視点は重要であるが、どれも大きな価値転換が求められるので、新たな施策を増やすことだけで対応するのではなく、これまでの施策を4つの視点から検証し、必要に応じて強化したり方向転換をしたりするような見直しが必要だと思う。
2	資料1	4・6	このページだけでなく、昭和・平成・令和と年号で書かれていますが、西暦(年号)で書かれてあると、現時点からの年の経過が分かりやすいと思います。 また(年号)が有れば、どの時代の事かも分かると思いました。
3	資料1	6	(デジタル社会の進展)3行目に「…Society5.0の実現を目指しています。…」とありますが、P13(新たな視点)では、デジタル変革(DX)が強調されていますが、ポストコロナを見つめて、ニューノーマルを考えると「Society5.0の実現」が新たな目標になるのではないかと考えられます。このような捉えでいいのかを質問します。
4	資料1	6	現書き込みに加えるべき。「リニア新幹線亀山誘致が決まり、3候補地が県既成同盟会に…云々」。今後当市がリニア施策を展開する上で、基本構想に載せると、今後の活動に重要性和スピードアップに繋がる。又、市民へのアピールと一体感が増す。
5	資料1	7	図の数値で平成27年の総人口50,254人とあるが、他に記載されてる数値と差異がある？。社人研推計と、住基台帳の差と見るが、統一すべきと考える。又、社人研なる用語が、用語解説に記載されていない為、余計に違和感を感じる。
6	資料1	9	財政規模が増加しています⇒財政規模が拡大しています、若しくは増大しています。文章としてはこちらが適正。図 亀山市の財政指数の推移⇒財政力指数では。又、このデータの出处が不明。
7	資料1	12	「図」平成27年、令和2年は実績？、とするならば他と同様に出处を明記すべき。
8	資料1	12	新たな視点として、「ポストコロナ時代におけるニューノーマルへの対応」、「デジタル変革」、「持続可能な開発目標の達成」が明記されていることは評価する。ここに「脱炭素社会の実現に向けた取り組みの加速化」も加えるべきではないか。
9	資料1	13・14	都市空間形成方針は変更しないのか。上記の4つの新たな視点によって都市空間形成方針も検証・調整すべきではないか。特に、 ・中心的都市拠点の強化に関連して、今後新たに建設する建物はゼロ・エネルギー・ビルにすること、気候変動適応策としてグリーン・インフラストラクチャの整備を進めること ・交通拠点性の強化による都市活力の向上に関連して、環境負荷の小さい交通システムを検討すること、自動運転車をどのように都市空間で受け入れるかを検討すること ・コンパクトなまちづくりの推進と適切な土地利用の誘導においては、なかなか進まない用途地域外の土地利用マネジメントをどうするかの方針を明記すること ・心地よい居住環境の形成については、住宅のアフォーダビリティや様々な住宅地の持続性について検討すること などが必要だと考える。 都市空間形成方針を大きく変更する必要はないが、上記に例示したように、4つの新しい視点にどう対応するのかの方針を加筆すべきである。
10	資料1	14	②、交通拠点性の強化による都市活力の向上、この書き込み中、「交通拠点性」が何回も記述されており文章として一考すべき。
11	資料2	全体	SDGsのアイコンは記載しないのですか。 地域福祉計画(案)等他の計画(案)には、SDGsのアイコンが各項目に記載されています。

No.	資料	ページ	意見・質問等
12	資料2	11	図11 H23の指数は(1.12)となっているが、基本構想9頁では(1)を切っている、他も含めて見直すべき。
13	資料2	11	図にないが、市の財政を見通す一丁目一番地の「財政調整基金」のデータがない、財政を考える上で重要な視点であるはず、表示すべきと思う。
14	資料2	17	2行目に「教育分野では、コミュニティ・スクールの推進による特色ある学校づくりをすすめた…」とあるが ① (・)が付いている箇所とそうでない箇所がある。統一してほしい。
15	資料2	17	② 用語解説一覧(案)では、コミュニティ・スクールは「『地域とともにある学校づくり』を進めるしくみのこと」とあり、コミュニティ・スクールで議論され合意された内容が、学校づくりに生かされ、結果として学校のクオリティを向上させていくものと考え。 言い換えれば、学校内(教職員)だけで進めていた学校づくりを、地域の人々とともに進めていくための「しくみ」である。 従って、「教育分野では、コミュニティ・スクールの推進による学校づくりをすすめた…」とするのが適切と考える。「特色ある」の言葉が入ることで、コミュニティ・スクールが、特色を作る為のツールになってしまうのではないかと危惧がある。
16	資料2	22・23	後期基本計画、最初の基本施策であり、亀山市のまちづくりの方向性を示す部分であることから、他の基本施策と重複する部分はあるものの、リニア中央新幹線や鈴鹿亀山道路の整備等、今後のまちづくりに大きな影響が及ぶものについては、施策に記載があってもよいのではないか。
17	資料2	22・23	JR亀山駅周辺を中心に記載があるが、東町などの中心市街地の掲載は不要でよいのか。今後P74.75で掲載や対応していくのであれば、その際に改めて意見等を述べていきたい。
18	資料2	23	P22の●3つ目、P23の◇1つ目、他のページにもJR・駅と書かれています。 P23の◇2つ目だけ…駅と書かれています、JRを書か無いことで何か区別されてるのでしょうか。
19	資料2	23	②活力ある市街地の形成に、周辺施設の整備を進めますとあるが何を示唆しているのか？、尚実施計画で明確になりますか？
20	資料2	23	更にその下方に「絵になるまち」とあるが、何を云わんとしているかが不明？絵はない方がよい。
21	資料2	24・25	空き家バンクについては、現在61件の掲載実績がある中で、より活用できる制度の周知や啓発活動を具体的に記載してはどうか。
22	資料2	27	◆老朽化した水道管…浸水対策を進めます。この書き込み文章の整理が必要。
23	資料2	28・29	経済界としても生産性向上などに対し、非常に重要であり、引き続き、生活道路の安心・安全にも考慮され推進いただきたい。
24	資料2	30	②公共交通機関の利便性向上と利用促進 実現は難しいかも知れませんが、鉄道の利便性向上のため、亀山駅と関駅で同じ交通系ICカードが使えるよう、JR東海、JR西日本へ働きかける必要があると考えます。
25	資料2	30	②公共交通機関の利便性向上と利用促進 コミュニティ系バスについては、買い物・通院利用に加え、通学・通勤での利用促進として、利用しやすい時間帯での運行や、ターゲットを絞った積極的なPRを行うなど、既存の路線をさらに活かせる方法があるのではないかと思います。 また、小中学生の校外学習として市内のバスを利用することも、利用者の増加に繋がる可能性もあると考えますし、また、子どもたちの社会経験としても良い機会になるのではないのでしょうか。
26	資料2	30・31	リニア中央新幹線の記載がないが、今後P84.85で掲載や対応していくのであれば、その際に改めて意見等を述べていきたい。

No.	資料	ページ	意見・質問等
27	資料2	32～34	災害支援ボランティアの書き込みが全くない、被災後の復旧・復興の対応として欠かす事ができない、再検討をすべき。
28	資料2	36～38	消防団の価値を再検討すべき、現状消防団の昼間活動はほとんど期待できない、現実を踏まえて統合を含め見直しすべき、又、お金のイン/アウトも考慮すべき。
29	資料2	38	④防犯・交通安全対策の推進 正しい交通マナーを、子どもの年齢に合わせて伝えることで、交通マナーが向上し、自分の身を守ることにも繋がると考えます。 ①小学校入学前の未就学児：通学に関する交通安全 ②小学校低学年：自転車乗車時の交通安全 ③中学校入学前：自転車通学に関する交通安全・事故遭遇時の対処法等 これらに加え、自転車損害賠償責任保険への加入促進も重要だと考えます。
30	資料2	40	「(8)脱炭素社会の実現に向けた…」は現行の環境政策の延長のように記載されているが、それでは到底達成されない。
31	資料2	40～42	経済界としても非常に重要な取組みと考えており、来年度、環境に関する委員会の設置などを計画しているため、情報共有や連携を図られたい。
32	資料2	44・45	亀山の代表的河川、鈴鹿川や安楽川の現実とは自然との共生は全くなし得ていない、特に中流域に於いては生物連鎖が遮断されている、この原因は稲作の泥流と含まれる、科学肥料の流れ込みと思う、この根本に対する書き込みがないと本章は成立しない。
33	資料2	46	○基本施策全般について 関町在住ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、道行く方が以前よりも少なくなっていますが、関宿では新しいお店ができるなど、活気が戻りつつあります。 「歴史文化を生かしたまちづくり」を通して、たくさんの方に来ていただければと思います。 また、駅から少し距離がありますので、訪れていただく際の移動手段として、コミュニティバス等を活用できると良いのではないのでしょうか。
34	資料2		○基本施策全般について 記載されている各施策が実現すれば、住みやすい亀山市になると感じた。